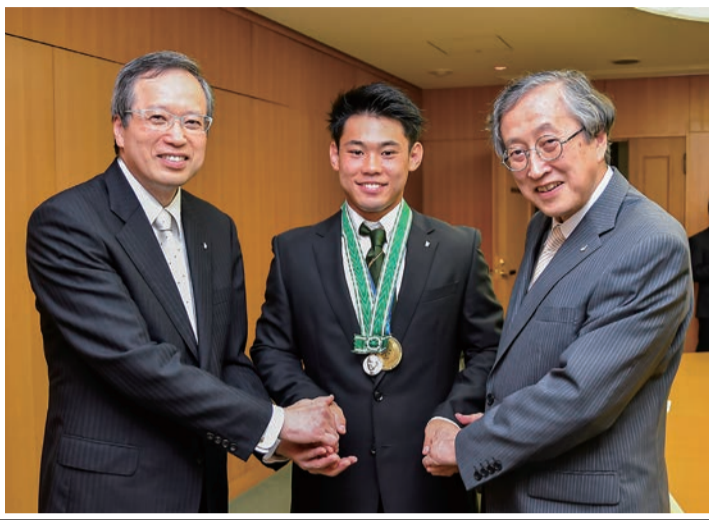


ラグビー・セブンズ ユニバーシアード金 野口に川島記念特別功労賞

「東京五輪でメダル獲得」

第30回ユニバーシアード夏季競技大会のラグビー男子セブンズ(7月、イタリア)で、初優勝を飾った日本代表チームの一員として活躍した野口宜裕(法4・早稲田摂陵高)に川島記念特別功労賞が贈られた。



野口と日高理事長(右)、佐々木学長

9月9日、神田キャンパスでの授賞式で、川島記念会長の日高義博理事長から表彰状を、佐々木重人学長から記念メダルを授与された。野口は「先頭に立ってチームを引っ張らなければならぬ立場で、チ

頑張ったかいがあった」と笑顔で話した。野口は7月に発表された2020東京オリンピックの第1次候補25人のうちの一人に選ばれている。

「メンバーでは一番の若手となるが、代表に選ばれ、五輪でメダルを獲得(倉鹿野雅賢・経済1)

得し、皆さんに良い報告をしたい。今後も世界大会などで経験を積み、プレーを極めていきたい」と決意を語った。

川島記念特別功労賞は、在学中に国際大会で好成績を収めた選手を顕彰する賞。

荒木(フリー)、前田(グレコ) 2位

全日本学生レスリング選手権 8月20、23日、世田谷区・駒沢体育館

荒木は初戦から盤石の試合運びで勝ち進んだ。準決勝は早大・岩澤選手に苦戦したものの5-4で勝利。しかし、決勝は日体大・新井選手に完敗(0-5)した。

前田は準決勝で6月の全日本選抜選手権を制した日体大・日下選手に勝利。「厳しい戦いになる」と予想していたが、勝て

たことは大きく、自信になった」と強敵を破ったことに手応えを感じていた。しかし、決勝は3-4で惜敗し、「自分のミスが原因。悔しい」と話した。

専大は荒木、前田のほか、5人が3位に入賞。計7人がメダルを獲得した。他の入賞者は次の通り。

大学生の個人ナンバーワンを決める大会で、フリー57kg級で荒木大貴(経営3・玉名工高)、グレコ72kg級で前田明都(経営3・花咲徳栄高)が準優勝に輝いた。

専大は荒木、前田のほか、5人が3位に入賞。計7人がメダルを獲得した。他の入賞者は次の通り。

▽フリー70kg級 丸目哲郎(経済2・星城高)
▽女子72kg級 小林奏音(ネット情報1・太田高)
▽グレコ55kg級 岡本景虎(経営1・和歌山北高)

▽グレコ60kg級 藤波諒太郎(文4・金沢北陵高)
▽グレコ130kg級 庄司樹(経済3・岐阜工高)
▽岡本真凜・経営2 写真(岡本真凜・経営2 写真)



相手を持ち上げ倒す前田 準決勝

昨年に続き準優勝

日本学生選手権水泳競技大会水球競技 9月6、8日、神奈川県・相模原市立総合水泳場

大学日本一を決める舞台、堂々のプレーを見せ、2年連続となる準優勝を挙げた。

初戦の明大戦は先制点を決めるも流れに乗れず、同点で迎えた最終ピリオドで3得点を決め、10-9で勝利した。

準々決勝で龍谷大に勝利(26-7)し、続く準決勝は21連覇中の王者

筑波大と対戦した。先制点を奪われたものの3連続得点で流れを作り、8-6で試合を折り返した。第3ピリオドで同点に追いつかれるも、最終ピリオドで市村朋也(経済4・山形工高)が3得点の活躍を見せるなど点差を広げ、難敵に勝利。本宮万記弘コーチは、「選手たちがよく頑張りを、練習通りのプレーができた。十分な練習量を確認したことで、体力で負けなかったことが大きい」と語った。

決勝は21連覇中の王者

日体大と対戦。攻めの姿勢を崩さずシュートに持ち込むもキーパーに阻まれ得点を決められない苦しい展開。最終ピリオドで2点を決めると、4-21で敗れた。

金井凱主将(商4・前橋商高)は、「点を離さねえが、2年連続で決勝に進出できたことは良かった。10月の日本選手権に向けてチーム力を高め、連携を良くしていきたい」と振り返った。

(高田康平・経営3 写真)

専大スポ

No. 399

専大スポーツ | <https://www.senshu-u.ac.jp/sports/>
[専大スポーツ編集Web] <https://sensupo.com/>



パスでゲームを組み立てる市村 筑波大戦

パスでゲームを組み立てる市村 筑波大戦

パスでゲームを組み立てる市村 筑波大戦

パスでゲームを組み立てる市村 筑波大戦

パスでゲームを組み立てる市村 筑波大戦

パスでゲームを組み立てる市村 筑波大戦



気迫のある泳ぎを見せる上原

上原卓巳(経済2・日体大在学)が2日目に

行われた男子1部2000

上原が初優勝

2000m自由形

関東学生選手権水泳競技大会 8月3、5日、神奈川県・横浜国際プール

上原は「最後の50はきつかったが、先輩方ははじめ多くの方が応援してくれていた。絶対に勝つという気持ちで泳ぎ切ったと振り返った。

上原卓巳(経済2・日体大在学)が2日目に

行われた男子1部2000



専Satation 第22号発行

専修大学体育会本部情報局「専大スポーツ」編集部(通称「専スポ」)が企画、取材、紙面編集を独自で行っているフリー雑誌「専Satation」22号が9月27日に発行される。

巻頭企画は、早くも結果を残しているローラースケート部のニューヒロイン・高秋嬉ら(文1・光丘高)。

ほかにもJリーグの大宮アルディージャに入団が決まったサッカー部の西村慧祐主将(法4・習志野高)、アーチェリー部のエース・中西菜津子(文3・大宮開成高)をはじめ、選手たちの競技に向けた熱い話から知られざるプライベートに迫った企画まで、充実した一冊となっている。

キャンパス内に設置されているラックなどで配布。「専スポ」部員の情熱がこもった一冊をぜひ手に取っていただきたい。定期購読を希望の方は専大スポーツ編集部WEB (<https://sensupo.com/>) と。

(白鳥順也・経営3)